

# 第37課：受身

受身是「被動」。中文可以講「我被老師讚」、「我的相機被弟弟弄壞」。日文受身不只是把賓語搬到前面，還要留意誰受影響、動作者用咩助詞、物件應放在哪裡。

今課先由辭書形／原形變受身形，再分三類句：人被做某事、某人的物件受影響、物件或事件被做。

## 一 今課目標

- 由辭書形／原形變受身形。
- 用 N1は N2に V受身 講人受到某人的動作。
- 用 N1は N2に Nを V受身 講自己的物件受影響。
- 用 Nが／は V受身 講物件或事件被做。
- 分清 に和 によって，以及 見られる 的可能和被動意思。

## 一、受身形點樣變

### 一 由辭書形／原形出發

五段動詞一般把結尾改成同一行的 a 段音，再加 れる；但 う 結尾要變 われる，例如 買う → 買われる。一段動詞去 る 加 られる。する 變 される。来る 變 来られる。

## 一 形式規則

### 受身形變法

動詞	做法	例子
五段	う 結尾變 われる；其他結尾改 a 段音，加 れる	買う → 買われる／書く → 書かれる／読む → 読まれる／話す → 話される
一段	去る，加 られる	見る → 見られる／ほめる → ほめられる
する	される	説明する → 説明される
来る	来られる	来る → 来られる

受身形和可能形有些樣子相似，尤其一段動詞和 来る，所以一定要靠句子意思判斷。

## 一 練習

### 一、將辭書形／原形改成受身形。

- ① 書く → \_\_\_\_\_
- ② 読む → \_\_\_\_\_
- ③ 話す → \_\_\_\_\_
- ④ しかる → \_\_\_\_\_
- ⑤ 見る → \_\_\_\_\_
- ⑥ ほめる → \_\_\_\_\_
- ⑦ 説明する → \_\_\_\_\_
- ⑧ 来る → \_\_\_\_\_

## 二、N1はN2にV受身：人受到某人的動作

### - 誰被做，誰做主題

N1 是受到動作的人，放は。N2 是做動作的人，放に。動詞用受身形。這種句常用於被讚、被問、被邀請、被罵。

### 一 例句

1. 私は先生に褒められました。  
→ 我被老師讚。
2. 弟は母にしかられました。  
→ 弟弟被媽媽鬧。
3. 私は友だちに結婚式に招待されました。  
→ 我被朋友邀請去婚禮。

### 一 練習

#### 二、用 N1はN2にV受身 改寫。

- ① 先生が私をほめました → \_\_\_\_\_
- ② 母が弟をしかったです → \_\_\_\_\_
- ③ 友だちが私を呼びました → \_\_\_\_\_
- ④ 先生が学生に質問しました → \_\_\_\_\_

## 三、N1はN2にNをV受身：自己的物件受影響

### - 被影響的人做主題，物件仍然用を

日日常把受影響的人放做主題，不把身體部位或自己的物件直接做主題。句型是 N1はN2にNをV受身。

受影響的受身

角色	助詞	例句部分
受影響的人	は	私は
做動作的人	に	弟に

角色	助詞	例句部分
自己的物件或身體部位	を	カメラを
動作	受身形	壊されました

## 一 例句

- 私は弟にカメラを壊されました。  
→ 我的相機被弟弟整壞，我受到影響。
- 私は犬<sup>いぬ</sup>に手をかまれました。  
→ 我被狗咬到手。
- 兄は妹にケーキを食べられました。  
→ 哥哥的蛋糕被妹妹食咗，哥哥受到影響。

## 一 練習

### 三、用受影響的受身改寫。

- ① 弟が私のカメラを壊しました → \_\_\_\_\_
- ② 犬が私の手をかみました → \_\_\_\_\_
- ③ 妹が兄のケーキを食べました → \_\_\_\_\_

## 四、Nが／は V受身、Nによって V受身：物件或事件被做

### - 焦點放在物件、作品、事件

當重點是物件或事件本身，可以用 Nが／は V受身。如果要講創作者、發現者、發明者，常用 Nによって。普通日常動作者多數用 に。

## 一 例句

1. この歌うたは多くの人に歌われています。  
→ 這首歌被很多人唱。
2. 新しい橋はしが作られました。  
→ 新橋建好了。
3. この小説しょうせつは有名な作家によって書かれました。  
→ 這本小說由有名作家寫成。
4. 電話はベルはつめいによって發明されました。  
→ 電話由貝爾發明。

## 一 練習

### 四、用物件或作品做主題，改成受身句。

- ① 多くの人がこの歌を歌っています → \_\_\_\_\_
- ② 作家がこの小説しょうせつを書きました → \_\_\_\_\_
- ③ ベルが電話はつめいを發明しました → \_\_\_\_\_

### 一 常見錯誤

- 富士山が見られます。一定係被動 句子可能是 可以看到富士山：見られる 可以是 見る 的可能形，也可以是受身。要靠上下文和動作者判斷。
- この小説は有名な作家に書かれました。この小説は有名な作家によって書かれました。：作品的創作者常用 によって。
- 私は犬によって手をかまれました。私は犬に手をかまれました。：日常直接動作者通常用 に。
- 私のカメラは弟に壊されました。想強調我受影響 私は弟にカメラを壊されました。：受影響的受身，把受害或受影響的人放做主題，物件仍用 を。

自己輸出：寫兩句人被動、一句自己的物件受影響、一句作品或發明的受身句。

---

---

---

---

---

